

ワークショップ(第13回)概要

- 日時 2025年2月22日(土) 14時30分から17時00分
2025年3月8日(土) 14時00分から17時00分

- 場所 大阪ヘルスケアパビリオン(現地)

- 議題 視覚障がい者によるナビレンスの現地確認

- 出席者

エキスパート	石塚裕子			
お困りごと当事者 4人	車いす使用者	0人	発達障がい者(親と参加)	0人
	視覚障がい者	4人	発達障がい者の親	0人
	聴覚障がい者	0人	LGBTQ+	0人
	精神障がい者	0人	医療的ケア児(親と参加)	0人
	知的障がい者(親と参加)	0人	子育て世帯	0人
	知的障がい者の親	0人		
作り手企業	—			
業務受託者	株式会社乃村工藝社・三菱UFJリサーチ&コンサルティング共同企業体 株式会社アクセスムーブコンフォート			
傍聴	—			

- 配慮事項

夢洲駅から大阪ヘルスケアパビリオンまでの誘導

- 議事要旨

- 視覚障がい者によるナビレンスの現地確認

2日に分けて開催し、視覚障がい者各2名が参加し、ナビレンスについて現地で確認した。確認は、実際の体験ルートに準じて、パビリオンのエントランスからスタートし、リボン体験ルート、アトリウム、みんなトイレの順に、仮設置したナビレンスコードの位置と高さ及び音声案内の内容を確認した。

意見として、「ナビレンスの使用方法の説明が必要」「説明内容が細かいと覚えることが難しい」「コードの位置が高いと気づかない可能性がある」等があった。また、「ミライのライドの映像を描写する音声内容については、映像が見えなくても情景を想像することができて良い」との感想があった。

2日間の現場確認での意見を踏まえ、追加での設置や音声内容の変更を進めた。

ナビレンスの現地確認

2025年2月22日（土） | 14:30～17:00

2025年3月08日（土） | 14:00～17:00

意見まとめ

事前情報

- ・ナビレンスを使用したことが無い人に向けて、ホームページに使用方法やアプリの設定方法を掲載してほしい
- ・コードの設置位置が高いとコードに気が付きにくい。
- ・コードの設置位置の情報があるとコードを見つけやすい。

トイレの説明方法

- ・トイレの洗浄操作パネルの案内は、細かすぎると覚えられない。流すボタンがどこにあるかとトイレトペーパーの位置を教えてほしい。
- ・トイレ内のすべての機能をナビレンスで説明されると覚えきれない。
- ・触知図では共用トイレの位置を示しているのに、ナビレンスではその案内がないため、共用トイレがどのように並んでいるのかわからない。
- ・トイレから出た後の案内が無く、わかりにくい。
- ・ヘルスケア2の入り口は、共用トイレ側からの案内も必要
- ・トイレ内の設備は時計回りなど、順番に案内してもらおう方が混乱しにくい。

誘導

- ・ナビレンスで全ての案内ができるわけではない。うまく使い分ける工夫が必要
- ・使える場所があまりないので、使い方になれる必要がある。
- ・ナビレンスコードの距離の音声と自分の感覚がずれると曲がる位置を間違える可能性がある。

ナビレンスの役割

- ・各ブースの展示の内容を介助や一緒に来ている友人から聞かなくても自分で情報を得ることができるのでうれしい。
- ・展示の内容をナビレンスで教えてもらえるのはうれしい。
- ・ミライのライド前で事前にナビレンスで映像の内容を知ることができる、見えなくても体験しながら想像することができる。